

Stapler

Patent number: JP7506057T

Publication date: 1995-07-06

Inventor:

Applicant:

Classification:

- International: **B25C5/10; B27F7/36; B25C5/00; B27F7/00; (IPC1-7):**
B25C5/15; B27F7/36

- european: B25C5/10; B27F7/36

Application number: JP19930518218T 19930226

Priority number(s): WO1993SE00166 19930226; SE19920001231
19920416

Also published as:



WO9320980 (A1)

EP0636059 (A1)

US5460313 (A1)

EP0636059 (B1)

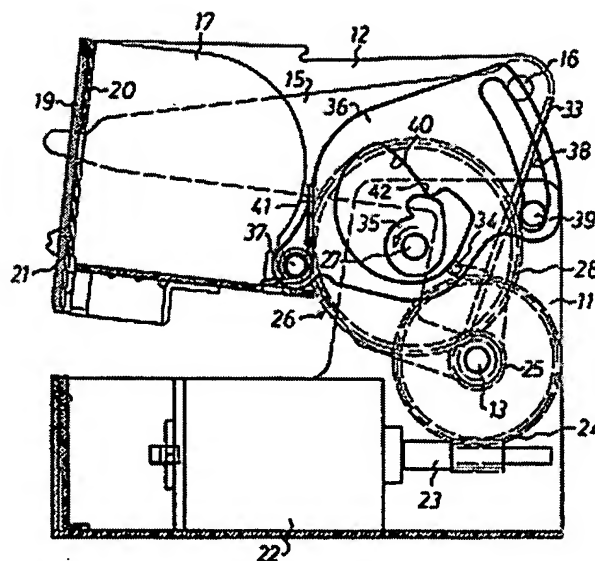
SE469113 (B)

[Report a data error here](#)

Abstract not available for JP7506057T

Abstract of corresponding document: **US5460313**

PCT No. PCT/SE93/00166 Sec. 371 Date Oct. 6, 1994 Sec. 102(e) Date Oct. 6, 1994 PCT Filed Feb. 26, 1993 PCT Pub. No. WO93/20980 PCT Pub. Date Oct. 28, 1993. A stapler for driving staples into a sheaf of papers comprising a base, a stapler head pivotably connected to the base via a first pin and pivotable between a starting position and a working position in which it is applied against a sheaf of papers placed between the base and the stapler head. A reciprocating drive element, adapted to drive a staple into the sheaf of papers during a driving stroke, is arranged in the stapler head. An operating mechanism, adapted to drive the drive element, is pivotably connected to the stapler head via a second pin parallel to the first pin. A drive mechanism is arranged in the base for pivoting the stapler head and the operating mechanism. A locking mechanism is arranged in the stapler head for releasably locking the stapler head in a working position while a staple is being driven into the sheaf of papers.



Data supplied from the [esp@cenet](#) database - Worldwide

(51) Int.Cl. ⁹	識別記号	庁内整理番号	F 1
B 2 5 C 5/15		9136-3C	
B 2 7 F 7/36		9422-3C	

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願平5-518218
 (86) (22) 出願日 平成5年(1993)2月26日
 (85) 翻訳文提出日 平成6年(1994)10月17日
 (86) 国際出願番号 PCT/SE93/00166
 (87) 国際公開番号 WO93/20980
 (87) 国際公開日 平成5年(1993)10月28日
 (31) 優先権主張番号 9201231-9
 (32) 優先日 1992年4月16日
 (33) 優先権主張国 スウェーデン (SE)

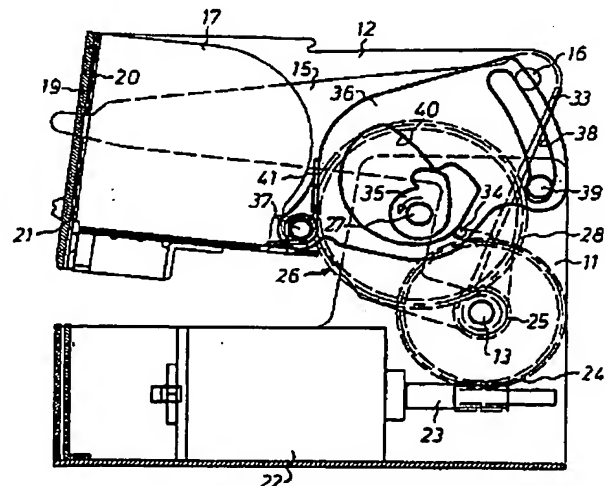
(71) 出願人 イサベルク・エービー
 スウェーデン国、エス — 330 27 ヘ
 ストラ、ボックス 115
 (72) 発明者 マグヌソン、ラース — インジェ
 スウェーデン国、エス — 330 27 ヘ
 ストラ、ベスタンガタン 1
 (72) 発明者 ストラート、オレ
 スウェーデン国、エス — 330 27 ヘ
 ストラ、ベルグブスガタン 7
 (72) 発明者 グスタブソン、トリークベ
 スウェーデン国、エス — 335 97 ア
 センヘガ、エクフルト 20エー
 (74) 代理人 弁理士 鈴江 武彦 (外3名)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ステープラ

(57) 【要約】

紙の束にステープルを打ち込むためのステープラが、ベース(11)と、第1のピン(13)を介してベースに回動可能のように連結され、起動位置と、ベースとステープラ・ヘッドとの間に置かれた紙の束に対してステープルが当てられる作業位置との間を回動可能であるステープラ・ヘッド(12)とを具備する。1回の打ち込みストロークの間に、紙の束に1つのステープルを打ち込むように適合される往復運動をする打ち込み要素(21)が、ステープラ・ヘッドに配置される。打ち込み要素(21)を往復運動させるように適合される駆動機構(15)は、第1のピン(13)に平行する第2のピン(16)を介してステープラ・ヘッド(12)に回動可能のように連結される。駆動手段(22-26)はベース(11)内に配置され、ステープラ・ヘッド(12)及び駆動機構(15)を回動する。ロック機構(36-41)はステープラ・ヘッド(12)内に配置され、ステープルが紙の束に打ち込まれている間に、作業位置のステープラ・ヘッド(12)を解放可能のようにロックする。



請求の範囲

1. 紙の束のような目的物(14)にステーブルを打ち込むためのステーブラで、ベース(11)と、第1のピン(13)を介してベースに回動可能なように連結され、且つ起動位置とステーブラ内でベースとステーブラ・ヘッドとの間に前記目的物がある時にステーブラ・ヘッドが前記目的物に当たる作業位置との間を回動可能な前記ステーブラ・ヘッド(12)と、ステーブラ・ヘッド(12)内に配置され、且つ前記目的物(14)にステーブルを打ち込むように適合され、往復運動する打ち込み要素(21)と、第1のピン(13)と平行する第2のピン(16)の周りを回動可能であり、且つ打ち込み要素(21)を往復運動させるように適合される作動手段(15)と、ステーブラ・ヘッド(12)及び作動手段(15)を回動するように適合される駆動手段(22-26)とを具備するステーブラであり、作動手段(15)が第2のピン(16)を介してステーブラ・ヘッド(12)に回動可能なように連結されることと、ステーブルが前記目的物に打ち込まれている間、ロック機構(36-41)が作業位置にステーブラ・ヘッド(12)を解放可能なようにロックするように適合されることを特徴とするステーブラ。

2. ロック機構(36-41)が、前記ピン(13, 16)に平行する第3のピン(37)を介してステーブラ・ヘッド(12)に回動可能なように連結され、且つベース(11)に固着的に連結され、また前記ピン(13, 16, 37)に平行するロック・ピン(39)に係合する弓型のスロット(38)を有するロック・プ

レートを有することを特徴とする請求項1記載のステーブラ。

3. ロック・プレート(36)が、ロック・ピン(39)が弓型スロット(38)の第1の端部部分に位置される第1の位置と、ロック・ピン(39)が弓型スロット(38)の第2の端部部分に位置され、且つロック・プレート(36)が第2の位置に向ってばね(41)によってバイアスされる前記第2の位置との間で回動可能であり、前記弓型のスロット(38)が、第3のピン(37)に関連して、第1の端部部分から第2の端部部分へ向っていく方向で大きくなる湾曲の半径を有し、ばね(41)が第1の位置から第2の位置へロック・プレート(36)を回動し、従ってスロット(38)の湾曲の半径が大きくなる結果として、第3のピン(37)のベース(11)に固着的に連結されるロック・ピン(39)までの距離が大きくなる時、第3のピン(37)がステーブラ・ヘッド(12)をスロット(38)の壁とロック・ピン(39)との間の楔作用によってロックされる作業位置へ動かすように、前記第3のピン(37)が第1のピン(13)に対して配置されることを特徴とする請求項2記載のステーブラ。

4. 駆動手段(22-26)が、第1のピン(13)の軸と一致する軸を持つモータ駆動の駆動歯車(25)を有し、前記ピン(13, 16, 37)に平行する第4のピン(27)を介してステーブラ・ヘッド(12)に回転可能なように装着されるカム機構(26)が、歯車(28)を介して、駆動されるように駆動歯車(25)と噛合い、且つ作動手段(15)と共同するように適合

明細書
ステーブラ

本発明は、紙の束のような目的物にステーブルを打ち込むためのステーブラに関するものであり、前記ステーブラは、ベースと、第1のピンを介してベースに回動可能なように連結され、且つ起動位置と目的物がステーブラのベースとステーブラ・ヘッドとの間に置かれる時ステーブラ・ヘッドが前記目的物に当たる作業位置との間を回動可能なステーブラ・ヘッドと、ステーブラ・ヘッドに配置され、且つ打ち込みストロークの間に前記目的物の中にステーブルを打ち込むように適合されて往復運動する打ち込み要素と、第1のピンと平行する第2のピンの周りを回動可能であり、且つ打ち込み要素を往復運動させるように適合される作動手段と、ステーブラ・ヘッド及び作動手段を回動するように適合される駆動手段とを具備する。

この型の従来の技術のステーブラ・ヘッドは、添付の図面の図1に略図で示される。

紙の束にステーブラを打ち込むために仕組まれた図示のステーブラは、ベース1とそれに回動可能なように連結されるステーブラ・ヘッド2を具備する。ステーブラ・ヘッド2は、ベース1に固着的に連結されるピン3の周りを上方の起動位置(図1参照)とステーブラ・ヘッドがステーブラのベース1とステーブラ・ヘッド2との間に配置される紙の束4に当たり、従って紙の束4の厚さによって決まる作業位置との間を回動可能である。

5. カム機構(26)がロック・プレート(36)と共同するように適合される第2のカム手段(35)を有して、カム機構(26)がその起動位置にある時に、その第1の位置にロック・プレート(36)を保持し、回転の最初の段階のカム機構(26)がその起動位置から遠ざかるように回転させられる時に、ロック・プレート(36)を解放して、それがばね(41)によってその第2の位置へ回動させられ、前記回転の最終段階のカム機構(26)がその起動位置へ戻る時に、ばね(41)の作用に対抗してロック・プレート(36)をその第1の位置へ戻し、前記第1及び第2のカム手段(夫々、32及び35)が同期させられて、作動手段(15)、更に加えてロック・プレート(36)が、カム機構(26)の1回転の間に1つの回動サイクルを行い、且つ第2のカム手段(35)がロック・プレート(36)を解放して、ロック・プレート(36)が第2の位置にありステーブラ・ヘッド(12)を作業位置にロックする時に、作業手段(15)が打ち込み要素(21)に打ち込みストロークを伝達することを特徴とする請求項3及び4の何れか1項記載のステーブラ。

回動可能な腕部5の形状の作動手段はステープラ・ヘッド2に配置される。腕部5はピン3に平行するピン6の周りで回動可能であり、ピン3のようにベース1に連結される。ステープラ・ヘッド2に適切に配置されて、打ち込みストロークの間に、ステープラ・ヘッド2に配置されるステープル・マガジン8からステープルを排出して、紙の束4内にステープルを打ち込む往復運動する打ち込み要素7が、腕部5によって往復運動させられる。この目的のために、腕部5は上方の起動位置(図1参照)と打ち込み要素7がベース1に到達するように、即ちより精密には、2枚の紙、即ちステープルで留められる、考えられる限りのものの中で最も薄い束の厚さに相当するベース1からの間隔になる下方の位置との間を回動可能である。腕部5はモータ駆動の偏心装置によって回動させられる。

腕部5は、ばね9によってステープラ・ヘッド2に連結される。腕部5が起動位置から下方へ回動される時、ステープラ・ヘッド2が2枚の紙を具備する考えられる限りの最小の束よりもずっと厚い、例えば図1に示される、紙の束4に当たるまで、腕部5はばね9によってステープラ・ヘッド2を引張っていく。ステープラ・ヘッド2が紙の束4によって止められると、腕部5はばね9の作動に対抗して下方へ動き続ける。この連続する下方への動きの間、腕部5は打ち込みストロークを打ち込み要素7へ伝達し、ステープル(図示されていない)はマガジン8から排出されて、紙の束4内へ打ち込まれる。

に加えて他のより安い構成要素の使用を可能にするステープラを提供することであることである。

本発明によると、この目的は、導入部で述べられた型のものであり、作動手段が第2のピンを介してステープラ・ヘッドに回動可能のように連結されることと、ステープルが前記目的物に打ち込まれる間、ロック機構が作業位置のステープラ・ヘッドを解放可能のようにロックするように適合されることとを特徴とするステープラによって具現される。

好ましくは、ロック機構は前記ピンに平行する第3のピンを介してステープラ・ヘッドに回動可能のように連結され、且つベースに固着的に連結されて、前記ピンに平行するロック・ピンと係合する弓型のスロットを有するロック・プレートとを有する。

好ましい実施例に於て、ロック・プレートは、ロック・ピンが弓型スロットの第1の端部位置に配置される第1の位置と、ロック・ピンが弓型スロットの第2の端部位置に配置され且つロック・プレートがばねによってその方向に向かってバイアスされる第2の位置との間で回動可能であり、前記弓型スロットは、第3のピンに対して、第1の端部位置から第2の端部位置へ向う方向で大きくなる湾曲の半径を有し、前記第3のピンは、ばねが第1の位置から第2の位置へロック・プレートを回動し、そしてスロットの湾曲の半径が大きくなる結果、第3のピンのベースに固着的に連結されるロック・ピンへの距離が大きくなる時、それは、それがスロットの壁とロック・ピンとの間の楔作用によってロックされる作業

ステープルが紙の束4の中に十分に打ち込まれても、モータ駆動の偏心装置はその下方位置まで腕部5を回動し続けようと努める。しかし、これは、駆動要素7を、従って腕部5を止める紙の束4によって妨げられる。これによって腕部5のピン6に働く持ち上げ力が生じる。それ故にステープラを作動させるために、このピンはばね10によってベース1に連結される。従ってこの前方端部でベース1へ向って更に下方へ回動される代りに、腕部5はその後方端部でばね10の作用に対抗して持ち上げられる。ばね10は、紙の束4が厚い時にかなりのものになり得る、ステープル打ち込み力に負けないように、またステープルが紙の束の中に完全に打ち込まれる前に、ピン6を持ち上げさせないように強くバイアスされなければならない。

紙の束4が厚ければ厚いほど、ばね9及び10によって出されるばね力はより強く、且つ腕部5が打ち勝たなければならないステープル打ち込み力もより強くなる。従って、紙の束の厚さが大きくなるにつれて、要求される打ち込み力は急速に大きくなる。その結果、比較的強い、従って値段の高い、モーターが腕部5を駆動するために必要とされる。勿論、他の構成要素もかなりの応力に抵抗する大きさにされねばならず、これはステープラの値段を高くし、更に加えて嵩張るものにする。

本発明の目的は上記の欠点を取除き、紙の束の厚さが大きくなる時に、ステープル留めの力をかなりゆっくりと大きくして、それによってより小型で、より値段の安いモータと更

位置へステープラ・ヘッドを動かす第1のピンに関連して配置される。

好ましくは、駆動手段は、第1のピンの軸と一致する軸を有するモータ駆動の駆動歯車と、前記ピンに平行する第4のピンを介してステープラ・ヘッドに回転可能のように装着され、歯車を介して、それによって駆動される駆動歯車と噛み合い、作業手段と共同するように適合されてカム機構が回転される時に作動手段を第2のピンの周りで前後に回して、それによって打ち込み要素を往復運動させる第1のカム手段を有するカム機構とを有する。

好ましくは、カム機構は、ロック・プレートと共同するように適合される第2のカム手段を有して、カム機構が起動位置にある時、その第1の位置にロック・プレートを保持し、回転の初期段階にあるカム機構がその起動位置から離れる方向に回転される時、ロック・プレートを解放して、それがばねによってその第2の位置へ回動され、前記回転の最終段階にあるカム機構が、その起動位置へ戻る時、ロック・プレートをばねの作用に対抗してその第1の位置へ戻し、前記第1及び第2のカム手段が同期させられて、作動手段、更に加えてロック・プレートがカム機構の1回転の間に1回の回動サイクルを行い、且つ第2のカム手段がロック・プレートを解放し且つ第2の位置にありステープラ・ヘッドを作業位置にロックする時に打ち込みストロークを打ち込み要素に伝達する。

本発明はここで添付の図面を参照して、より詳細に説明さ

れる。

図1は、上記で説明された従来の技術のステープラの略図である。

図2は、本発明のステープラの部品を示す展開斜視図である。

図3乃至5は、色々な作業位置にあるステープラを示す長手方向断面図である。

図6は、図4に類似しているが、より厚い紙の束のステープル留めを示す。

図7は、図5に類似しているが、より厚い紙の束のステープル留めを示す。

図8は、カム機構の部分を示す。

図2乃至7に示されるステープラは電気で作動し、固着されたベース11と、ベース11に回動可能に連結されたステープラ・ヘッド12とを具備する。ステープラ・ヘッド12は、上方の起動位置(図3参照)と、ステープラ・ヘッド12が、ステープラに於てベース11とステープラ・ヘッド12との間に配置される紙の束14に対して当てられる下方の作業位置との間で横向きのピン13の周りを回動可能である。たった2枚の紙から成る束14の下方の作業位置は図4及び5に、多数の紙を含むずっとより厚い束14のものは図6及び7に示される。従って、ステープラ・ヘッド12の作業位置は紙の束14の厚さによって決まる。

ステープラ・ヘッド12は、2つの腕部15の形状の駆動機構を具備するU型チャンネル(図2参照)である。腕部15は夫

々後方端部でU型チャンネルの側壁に回動可能のように連結される。腕部15は側壁と平行して前方へ延在し、前方端部で、ステープラ・ヘッド12を越えて或る長さを突き出ている。腕部15は夫々、チャンネルの側壁に固着される横向きの回動ピン16の周りを回動可能である。回動ピン16は互いに向かい合い、ピン13に平行して配置される。腕部15は、上方の起動位置(図3、4、及び6参照)と下方の折り返し位置(図5及び7参照)との間でステープラ・ヘッド12に関連して回動可能である。

ステープル或いはステープル・ブランク(図示されていない)を具備するマガジン17は、ステープラ・ヘッド12の前方部分に装着される。この場合のマガジンは、“ステープラで使用するためのカセット(Cassette for Use in a Stapler)”という表題の先願のPCT出願第SE93/00165号明細書で説明される型のカセットである。カセット17は、並列して、切り離し可能なように相互に連結されて、巻物状(図示されていない)に巻き上げられる1本のステープル・ブランクの帯状体を形成する真直ぐなワイヤ・ブランクを収容するケース18を有する。カセット17は、ステープル成形体20及びステープル打ち込み体21が往復運動をするように配置されている正面のプレート19も有する。正面部分で、腕部15はステープル成形体20及びステープル打ち込み体21に係合して、それらの回動運動の間、これらを上方及び下方へ往復運動させる。腕部15が下方へ振り動かされる時、ステープル成形体20及びステープル打ち込み体21は下方へ動かされ、ステープル成形

体20はステープル・ブランクをU型のステープルに曲げ、一方でステープル打ち込み体21は先行するステープル留めサイクルの間にステープル成形体20によって形成されたU型のステープルを切り離して、紙の束14にこのステープルを打ち込む。勿論、これは、ステープラ・ヘッド12が作業位置にある時、即ち紙の束14に当てられている時に行われる。

上記で述べられるように、ステープラが電氣的に動かされ、ベース11内に具備される電気モータ22によって駆動される。ウォーム歯車24を介して、モータ22のシャフト23の出力は駆動歯車25を駆動する。歯車25は、ベース11に連結され、且つその周りをステープラ・ヘッド12が回動するピン13上に回動可能のように装着される。駆動歯車25は、ステープラ・ヘッド12に具備され、ピン13に平行し且つステープラ・ヘッドに連結されるピン27上に回動可能のように装着されるカム機構26を駆動するように適合される。この目的のために、駆動歯車25は、カム機構26の部分形成し、ピン27上に装着される歯車28と噛合う。歯車28に加えて、カム機構26は歯車28に回轉できないように連結されるカム・ホイール29を具備する。歯車28及びカム・ホイール29は、カム・ホイール29上に具備され、円形以外の断面を有し、且つ歯車28内に具備され且つ対応する断面の形状を有する中心孔に挿入されるハブ部分30によって相互連結される。

歯車28及びカム・ホイール29は夫々、半径方向外側に面するカム表面と半径方向内側に面するカム表面を持つ環状のカム湾曲体32を有する。カム湾曲体32は全く同一であり、夫

々の腕部15と共同して、カム機構26が回転する時、腕部15を上方の起動位置と下方の折り返し位置との間で同期して回動する。そして外側のカム表面は、夫々の腕部15上で背面のフランジ33と共同し、一方で内側のカム表面は夫々の腕部15に連結され、且つフランジ33の僅かに前方に配置されるピン34と共同する。

ハブ部分30は、それに回転不能のように連結され、洋梨のような断面の形のカム手段35を有する。カム手段35は、その周囲の殆どに亘って延在し、ピン27に対して一定の半径を有する第1の部分と、更に加えてその周囲のよりずっと少ない部分に亘って延在し、同じく一定の半径を有する第2の部分とを有する。図3乃至7から明白のように、第2の部分の半径は第1の部分のそれよりもずっと大きい。

ステープラ・ヘッド12の側壁に平行するロック・プレート36は、ステープラ・ヘッド12に回動可能のように連結される。ロック・プレート36はピン13及び27に平行し、ステープラ・ヘッド12の回動ピン13のかなり前方のステープラ・ヘッド12の下方部分に固着されるピン37の周りを回動可能である。更に、ロック・プレート36は、ピン13、27、及び37に平行するロック・ピン39に係合する弓型のスロット38を有する。ロック・ピン39は、その上方の後方部分(ピン13の後上方)でベース11に固着的に連結される。ロック・プレート36は中央に特殊な形状の孔40を有する。カム機構26のハブ部分30は孔40を通して延在し、図3乃至7に示されるように、ハブ部分30のカム手段35はロック・プレート36に軸の周りで向い合っ

配置されて、孔40の境界の壁と共同する。

ロック・プレート36は、ロック・ピン39が弓型のスロット38の下方の第1の端部部分に配置される上方の第1の部分（図3参照）と、紙の東14の厚さによって決まり、ロック・ピン39が弓型のスロット38の上方の第2の端部部分に配置されている（薄い東に関しては図4及び5、また厚い東に関しては図6及び7参照）下方の第2の部分との間を回動可能である。ロック・プレート36は、ステープラ・ヘッド12の底部とロック・プレート36の前方縁部との間のピン37に装着されるばね41によって第2の位置へ向ってバイアスされる。弓型のスロット38はピン37に対して下方の第1の端部部分から上方の第2の端部部分へ向う方向で大きくなる湾曲の半径を有する。この湾曲の半径はスロット38の長さの小さい部分でまづかなり大きくなり、それからスロットの長さの残りの部分で緩やかに大きくなる。その理由は下記でより詳細に説明されるであろう。

ステープラの機能は、ここで図3乃至8を参照してより詳細に説明されるであろう。

起動位置に於て（図3参照）、ステープラ・ヘッド12はその上方の位置にあり、カム機構26は、カム湾曲体32が腕部15をその上方位置に維持し、カム手段35の第2の（大きい半径の）部分がロック・プレート36の孔40の周りの境界の壁上の突出部42に当って、ロック・プレート36を上方の第1の位置に維持する回転の位置を占めて、ばね41がロック・プレート36を下方の第2の位置へ駆動できないようにする。

ヘッド12が、それが回動ピン13の回りで上方へ振り動かされ得ないため、作業位置にロックされる。

カム機構26の最初の回転の間、カムの湾曲体32は、ピン27に対して一定の半径の第1の外周部分C1、即ち約30°の範囲に亘って夫々の腕部15のフランジ33に当る（図8参照）。その結果、ステープラ・ヘッド12が紙の東14に到達しても、腕部15は依然としてステープラ・ヘッド12に関して上方の起動位置に配置されている（図4参照）。

カム機構26の続く回転の間に、カムの湾曲体32は、ピン27に対して僅かに大きくなる半径の第2の外周の部分C2、即ち約180°の範囲に亘って夫々の腕部15のフランジ33に当るようになる。カム機構26が更に回転させられると、腕部15は、それらがステープル成形体20及びステープル打ち込み体21をそれらの下方部分へ動かす下方の折り返し位置へ向って下方へ振り動かされる。これは、ステープル打ち込み体21が紙の東14の最も上のシートにぴったり密着して配置されるということを意味する。

カム機構26が更に回転されると、カムの湾曲体32は、一定の半径の第3の外周の部分によって夫々の腕部15のフランジ33に当るようになって、紙の東14の下方側部に対して挿入されたステープルの脚部を曲げるための折り曲げ作業（ここでは詳細に説明されない）の間、腕部15を、従ってステープル成形体20及びステープル打ち込み体21を、それらの下方の位置に維持する。第3の外周の部分C3は約25°の範囲を有し、第4の外周の部分C4に合体し、第4の部分は縮小する

紙の東14がステープラ内に配置されると、マイクロスイッチ（図示されていない）が作動して、モータ22を始動する。それからモータ22は、駆動歯車25に、従って全カム機構26に、係合する歯車28を、図3乃至8に関して反時計回りに1回転する。カム機構26、従ってカム手段35が約15°を回ってしまうと、カム手段はロック・プレート36を解放し、そしてそれはばね41によってその下方の第2の位置（図4参照）へ動かされる。弓型のスロット38が、ピン37に対して下方の第1の端部部分から上方の第2の端部部分へ向う方向で大きくなる湾曲の半径を有するので、ロック・ピン39とピン37との間の間隔は、ロック・プレート36が下方へ振り動かされる間に、大きくならなければならない。この間隔の増大は、ステープラ・ヘッド12に連結され、且つステープラ・ヘッド12を作業位置へ向って下方へ回動するピン37によって具現される（図4参照）。ロック・プレート36が上方の第1の位置から下方の第2の位置へ向って回動して動く間に、ロック・ピン39は、最初に湾曲の半径がかなり増加する短いスロット部分を通過するので、ステープラ・ヘッド12は、先ず下方へ向って非常に急速に振り動かされる。この急速な下方への動きは紙の東14にぶつかる危険性のない領域、即ちステープラに配置され得る最も厚い東よりも上にある領域で行われる。

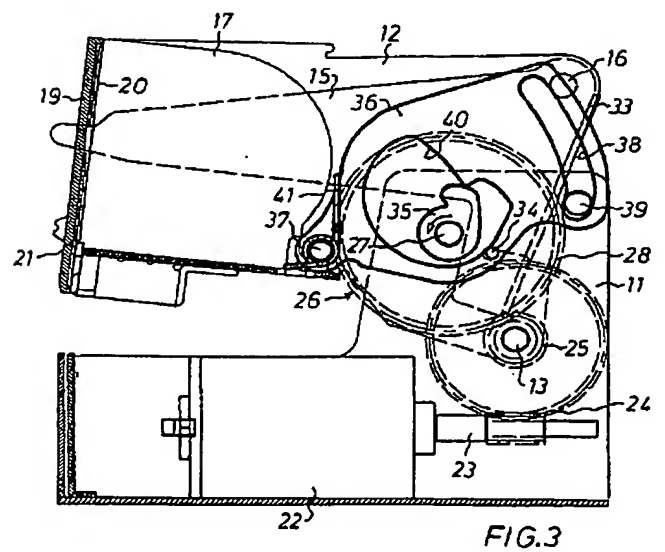
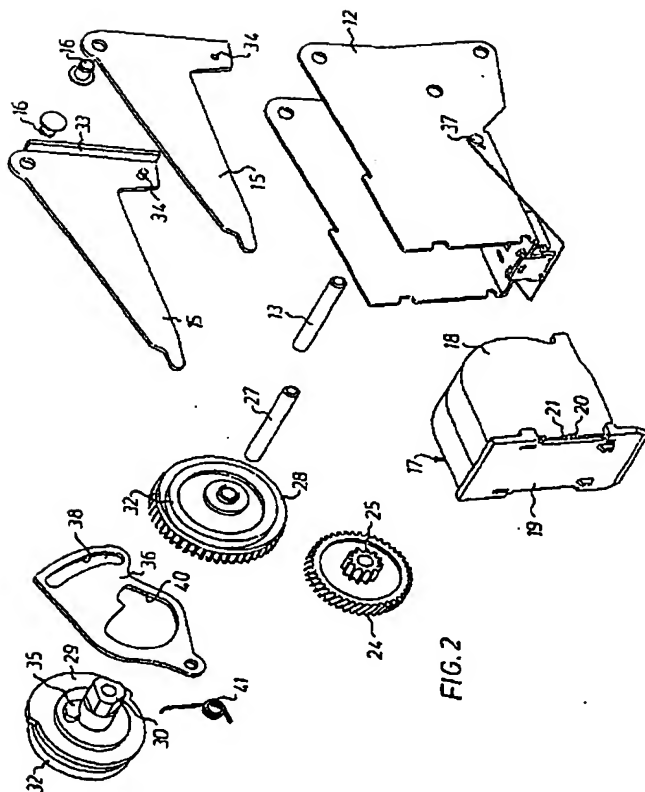
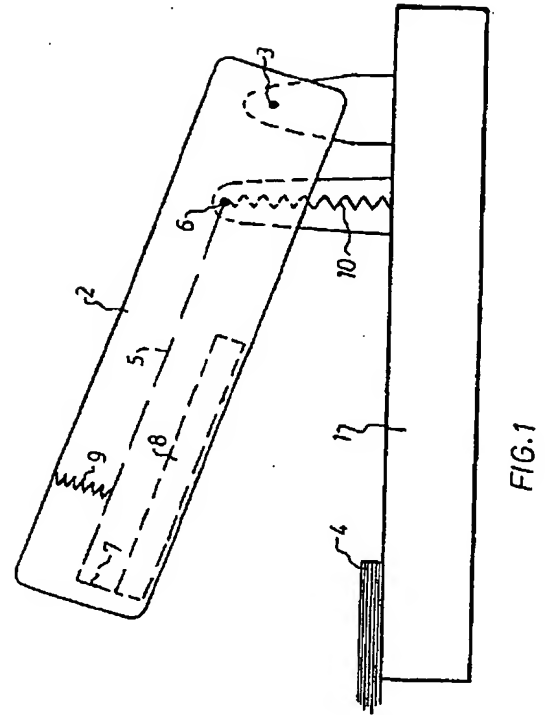
ロック・プレート36及びロック・ピン39の作られる材料（好ましくは硬化鋼）に関して、弓型のスロット38の湾曲の半径の増加がロックする楔作用がスロット38の壁とロック・ピン39との間で起こるように、選択されるので、ステープラ

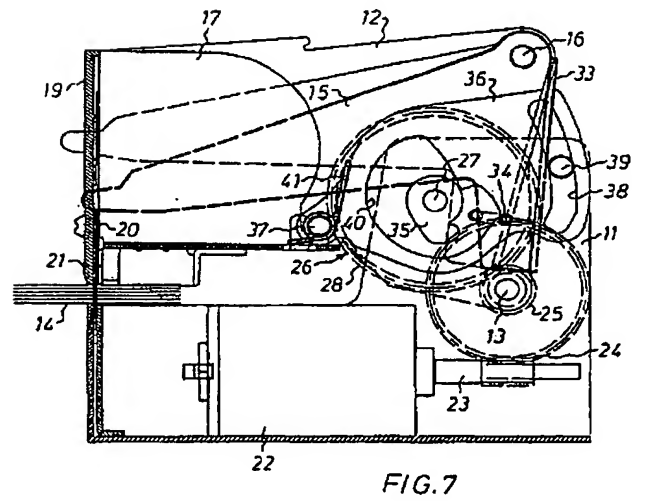
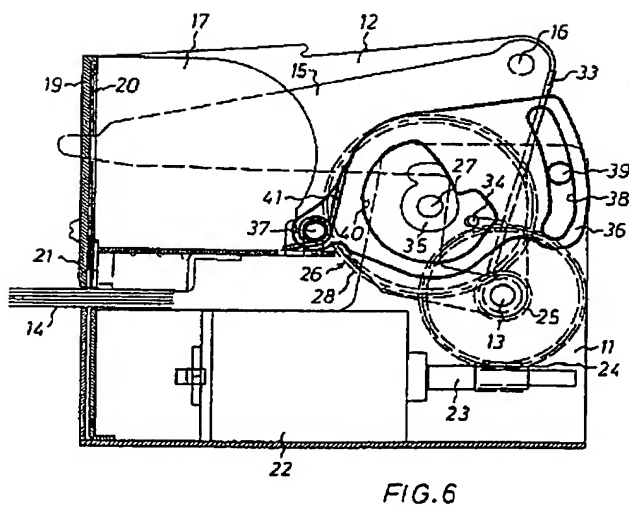
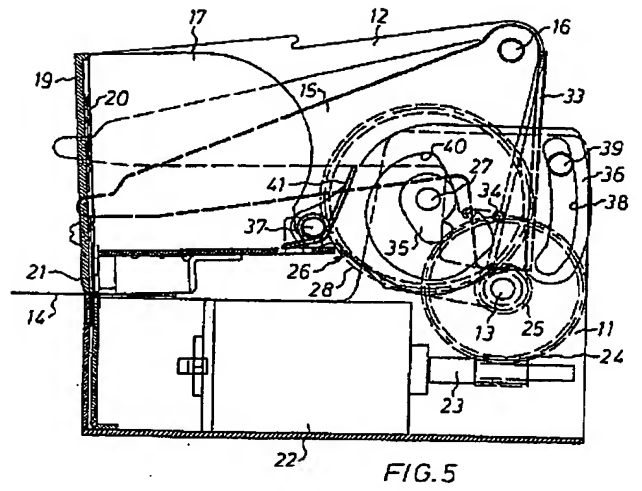
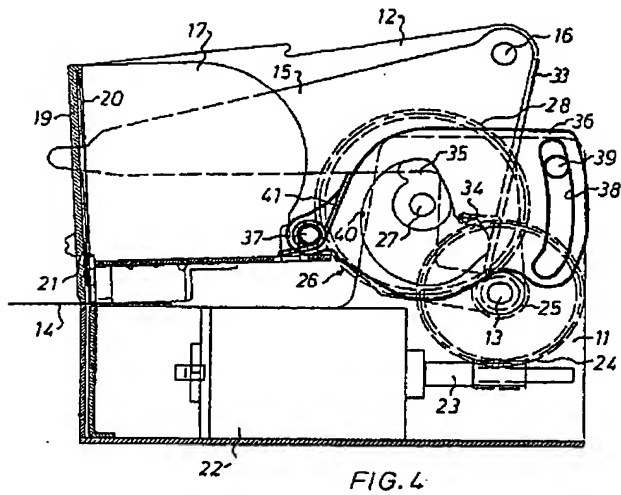
半径を有し、第1の外周の部分C1に滑らかに合体する。上述の部分は、夫々のカムの湾曲体32の半径方向外側に面する表面の周囲の部分である。半径方向内側に面するカムの湾曲体32の表面は、第4の外側の外周の部分C4の反対側に配置され、且つピン27に対して縮小する半径を有する周囲の第5の部分の部分を有して、夫々のピン34と共同して腕部15を上方の起動位置へ戻す。

カム機構26の最終の回転ステージに於て、即ち腕部15が上方の起動位置へ戻される時、カム手段35の第2の（大きい半径の）部分は突出部42に当たり、ばね41の作用に対抗してロック・プレート36をその上方の第1の位置へ戻す。ステープラ・ヘッド12は、その上方の第2の端部部分からその下方の第1の端部部分へ向かう方向で弓型のスロット38の湾曲の半径が縮小するために、その上方の位置へ向って振り動かされる。

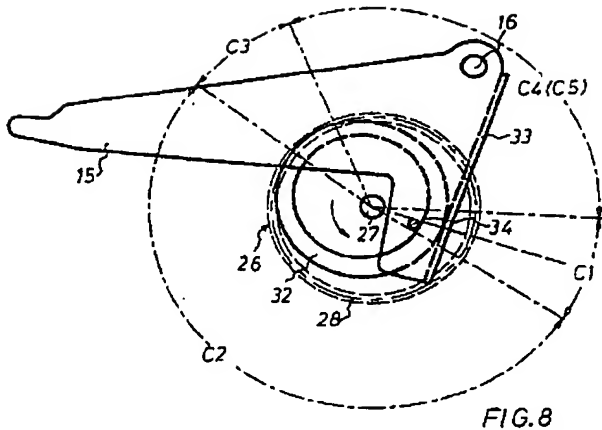
図6及び7（夫々、図4及び5に類似している）は、より厚い紙の東14を示す。より厚い紙の東14がステープル留めされる時、ステープラ・ヘッド12が東に当る前により短い距離を下方へ振り動かされることを除いて、厚い東も薄い東も全く同じ方法でステープル留めされる。これは、ロック・プレート36もばね41によってより短い距離を下方へ振り動かされるということの意味するだけである。しかし、ロック・プレート36の下方への動きは、湾曲の半径が緩やかに大きくなり、従ってステープラ・ヘッド12が下方へ振り動かした位置でロックされる弓型のスロット38の部分にロック・ピン39を到達

させるのに十分である。ステーブラ・ヘッド12に関連して行う腕部15の回動は、紙の束14の厚さによって全く影響を受けない。





国際調査報告

International application No.
PCT/SE 93/00166

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

IPC5: B25C 5/00, B25C 3/15, B27F 7/36, B27F 7/17

According to International Patent Classification (IPC) or to other national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Maximum documentation searched (classification system followed by classification system)

IPC5: B25C, B27F

Documentation searched other than maximum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched
SE, DK, FI, NO classes as above

Documents also later considered during the international search (period of data base and, where practicable, search record used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passage	Relevant to claim No.
A	EP-A2, 0322306 (M&E CO, LTD), 5 July 1989 (05.07.89). See in particular the description page 4, column 5, line 46 - line 53	1
A	DE-A1, 2940942 (TAKISUEDO, FUNIO, TAJIMA, Gifu), 14 May 1980 (14.05.80). Observe the two rotation shafts 3 and 8.	1

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☒ See patent family classes.

- * 1 useful comparison of cited documents
- "A" document defined for search date of the art which is not considered to be of general relevance
- "B" document published on or after the international filing date
- "C" document which may have priority claims or which is a national document (in some cases)
- "D" document referred to in the description, art, citations or other parts
- "E" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed
- "F" later documents published after the international filing date or priority date and are considered to be of general relevance but not to substantiate the priority or novelty claim(s) in the present art
- "G" document of particular relevance the document is considered to be of general relevance or of interest to the art in the present art
- "H" document of particular relevance the document is considered to be of general relevance or of interest to the art in the present art
- "I" document published after the international filing date but later than the priority date claimed
- "J" document published after the international filing date but later than the priority date claimed

Date of the actual completion of the international search

8 July 1993

Name and mailing address of the ISA/
Swedish Patent Office
Box 5055, S-102 02 STOCKHOLM
Sweden No. +46 8 666 03 86

Form PCT/ISA 210 (second sheet) (July 1993)

Date of mailing of the international search report

15 -07- 1993

Authorized officer

Marie Lundström
Telephone No. +46 8 793 35 00

国際調査報告

28/05/93

International application No.
PCT/SE 93/00166

Foreign documents used in search report	Publication date	Foreign family members	Publication date
EP-A2- 0322306	05/07/89	EP-A- 0530855	10/03/93
		EP-A- 0530857	10/03/93
		JP-A- 1210799	14/05/89
		US-A- 5009355	23/04/91
		US-A- 5029745	09/07/91
		JP-A- 1040516	10/02/89
DE-A1- 2940942	14/05/80	JP-A- 55065087	16/05/80
		US-A- 4288016	08/09/81

フロントページの続き

(81)指定国 EP(AT, BE, CH, DE,
DK, ES, FR, GB, GR, IE, IT, LU, M
C, NL, PT, SE), OA(BF, BJ, CF, CG
, CI, CM, GA, GN, ML, MR, SN, TD,
TG), AT, AU, BB, BG, BR, CA, CH,
CZ, DE, DK, ES, FI, GB, HU, JP, K
P, KR, LK, LU, MG, MN, MW, NL, NO
, NZ, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SK,
UA, US

【公報種別】特許法第17条第1項及び特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成8年(1996)6月25日

【公表番号】特表平7-506057

【公表日】平成7年(1995)7月6日

【年通号数】

【出願番号】特願平5-518218

【国際特許分類第6版】

B25C 5/15 7181-3C

B27F 7/36 9422-3C

手続補正書

平成7年10月17日

(2) 明細書第2頁第2乃至3行の「腕部5はピン3に平行するピン6の周りで回転可能であり、ピン3のようにベース1に連結される。」を「腕部5はピン3に平行し、ピン3のようにベース1に連結されるピン6の周りで回転可能である。」に訂正する。

特許庁長官 沼川 佑二 殿

1. 事件の発示

特願平5-518218号

2. 発明の名称

ステープラ

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名称 イサベルタ・エービー

4. 代理人

東京都千代田区霞が関3丁目7番2号

特許内外特許事務所内

〒100電話 03(3501)3181 (大代表)

(5847)弁護士 鈴 江 敏 郎

5. 目録補正

6. 補正の対価

請求の範囲、明細書

7. 補正の内容

(1) 請求の範囲を別紙の通り訂正する。



請求の範囲

1. 紙の束のような目的物(14)にステープルを打ち込むためのステープラで、ベース(11)と、第1のピン(13)を介してベースに回転可能のように連結され、且つ起動位置とステープラ内でベースとステープラ・ヘッドとの間に前記目的物がある時にステープラ・ヘッドが前記目的物に当たる作業位置との間を回転可能な前記ステープラ・ヘッド(12)と、ステープラ・ヘッド(12)内に配置され、且つ前記目的物(14)にステープルを打ち込むように適合され、往復運動する打ち込み要素(21)と、第1のピン(13)と平行する第2のピン(16)の周りを回転可能であり、且つ打ち込み要素(21)を往復運動させるように適合される作動手段(15)と、ステープラ・ヘッド(12)及び作動手段(15)を回転するように適合される駆動手段(22-26)とを具備するステープラであり、作動手段(15)が第2のピン(16)を介してステープラ・ヘッド(12)に回転可能のように連結されることと、ステープルが前記目的物に打ち込まれている間、ロック機構(36-41)が作業位置にステープラ・ヘッド(12)を解放可能のようにロックするように適合されることを特徴とするステープラ。

2. ロック機構(36-41)が、前記ピン(13、16)に平行する第3のピン(37)を介してステープラ・ヘッド(12)に回転可能のように連結され、且つベース(11)に固着的に連結され、また前記ピン(13、16、37)に平行するロック・ピン(39)に係合する弓型のスロット(38)を有するロック・プレート(36)を有することを特徴とする請求項1記載のステープラ。

3. ロック・プレート(36)が、ロック・ピン(39)が弓型スロット(38)の第1の端部部分に位置される第1の位置と、ロック・ピン(39)が弓型スロット(38)の第2の端部部分に位置され、且つロック・プレート(36)が第2の位置に向ってばね(41)によってバイアスされる前記第2の位置との間で回転可能であり、前記弓型のスロット(38)が、第3のピン(37)に開避して、第1の端部部分から第2の端部部分へ向っていく方向で大きくなる湾曲の半径を有し、ばね(41)が第1の位置から第2の位置へロック・プレート(36)を回転し、従ってスロット(38)の湾曲の半径が大きくなる結果として、第3のピン(37)のベース(11)に固着的に連結されるロック・ピン(39)までの距離が大きくなる時、

第3のピン(37)がステープラ・ヘッド(12)をスロット(38)の端とロック・ピン(39)との間の楔作用によってロックされる作業位置へ動かすように、前記第3のピン(37)が第1のピン(13)に対して配置されることを特徴とする請求項2記載のステープラ。

4. 駆動手段(22-26)が、第1のピン(13)の軸と一致する軸を持つモータ駆動の駆動歯車(25)を有し、前記ピン(13、16、37)に平行する第4のピン(27)を介してステープラ・ヘッド(12)に回転可能のように装着されるカム機構(26)が、歯車(28)を介して、駆動されるように駆動歯車(25)と噛合い、且つ作動手段(15)と共同するように適合させられる第1のカム手段(32)を有して、カム機構(26)が回転させられる時に、作動手段が第2のピン(16)の周りを前後に回転して、それによって打ち込み要素(21)を往復運動させることを特徴とする請求項1乃至3の何れか1項記載のステープラ。

5. カム機構(26)がロック・プレート(36)と共同するように適合される第2のカム手段(35)を有して、カム機構(26)が起動位置にある時に、前記ロック・プレート(36)の第1の位置にロック・プレート(36)を保持し、回転の最初の段階のカム機構(26)が前記カム機構(26)の起動位置から遠ざかるように回転させられる時に、ロック・プレート(36)を解放して、前記ロック・プレート(36)がばね(41)によって前記ロック・プレート(36)の第2の位置へ回転させられ、前記回転の最終段階のカム機構(26)が前記カム機構(26)の起動位置へ戻る時に、ばね(41)の作用に対抗してロック・プレート(36)を前記ロック・プレート(36)の第1の位置へ戻し、前記第1及び第2のカム手段(夫々、32及び35)が同期させられて、作動手段(15)、更に加えてロック・プレート(36)が、カム機構(26)の1回転の間に1つの回転サイクルを行い、且つ第2のカム手段(35)がロック・プレート(36)を解放して、ロック・プレート(36)が第2の位置にありステープラ・ヘッド(12)を作業位置にロックする時に、作業手段(15)が打ち込み要素(21)に打ち込みストロークを伝達することを特徴とする請求項3及び4の何れか1項記載のステープラ。

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.